



Cisco Unified MeetingPlace 5.4 ディレクトリ サービス

製品概要

Cisco® Unified MeetingPlace® 会議システムは、シスコ ユニファイド コミュニケーション製品シリーズの 1 つとして、音声、ビデオ、および Web 会議機能を統合することにより、リッチメディア会議ソリューションを提供します。この製品は、フェイスツーフェイスの会議と変わらない自然で効果的なリモート会議を実現し、会議の生産性を向上させます。Cisco Unified MeetingPlace ソリューションは、ファイアウォールの内側にオンネットとして配置され、企業のプライベート ネットワークの音声、データ、エンタープライズ アプリケーションを直接統合します。そのため、コストを大幅に削減し、セキュリティを確保できるとともに、使いやすさにも優れています。

シスコ ユニファイド コミュニケーション ファミリにおける音声、ビデオ、IP コミュニケーションの製品およびアプリケーションは、企業のコミュニケーションを円滑にし、ビジネス プロセスの短縮、適切なリソースへの迅速なアクセス、および収益の拡大を可能にします。

Cisco Unified MeetingPlace 5.4 ディレクトリ サービスは、Cisco Unified MeetingPlace ユーザ データベースを自動的に作成および更新することで、管理を簡素化し、セキュリティを向上させ、使いやすいユーザ環境を実現します。このアプリケーションを使用すると、社内のディレクトリまたは Cisco Unified CallManager ディレクトリから Cisco Unified MeetingPlace のシステム ディレクトリへと情報が自動的に伝播されるため、プロフィールを手動で作成または更新する必要がなくなります。

主な機能と利点

機能

- **社内ディレクトリの統合** — Lightweight Directory Access Protocol (LDAP) に準拠した外部ディレクトリと Cisco Unified MeetingPlace ユーザ ディレクトリの間でデータを自動的に同期化します。
- **プロフィールの作成** — 最初の同期で新しいプロフィールを Cisco Unified MeetingPlace データベースに自動的に追加し、その後新しいエントリを社内ディレクトリに追加します。
- **プロフィールの更新** — 社内ディレクトリでのユーザ プロファイルの変更を検出し、更新情報を Cisco Unified MeetingPlace データベースに自動的に伝播します。
- **プロフィールの削除** — 社内ディレクトリから従業員が削除された場合、Cisco Unified MeetingPlace アカウントを自動的に削除または保留にします。
- **設定** — さまざまなユーザ グループによって生じる柔軟な更新設定と設定可能なビジネス ルールを提供することにより、会議を柔軟に展開できます。
- **Cisco Unified MeetingPlace の同期** — 複数の Cisco Unified MeetingPlace 間で、ユーザ プロファイル情報を常に最新の状態にします。
- **スケーラビリティ** — 最大 250,000 のプロフィールをサポートします。

ネットワーク セキュリティ

- **正確なデータベース** — Cisco Unified MeetingPlace ユーザのリストを常に最新の状態にし、以前の従業員による不正なアクセスを防ぎます。
- **ネットワーク クレデンシャル ログイン** — 企業のネットワーク クレデンシャルで認証されたユーザを認識します。
- **オンネット配置** — 企業ネットワーク内のすべての情報をオンネット アプリケーションとして保護します。
- **社内ディレクトリの保護** — 社内ディレクトリが変更されないようにして情報の整合性を保ち、消極的な読み取り専用のアクセスだけを許可します。

システム管理者の利点

- **管理の簡素化** — 社内ディレクトリの情報を使用してプロフィール データベースを自動的に管理するため、新しい従業員が入社して社内ディレクトリに追加されると、すべての Cisco Unified MeetingPlace サーバ上で Cisco Unified MeetingPlace プロファイルが自動的に作成されます。電話番号や E メール アドレスなど、ユーザ情報に変更が生じた場合も、社内ディレクトリ以外の場所でユーザプロフィールを更新する必要はありません。
- **セキュリティ** — 認証されたユーザのデータベースを常に最新の状態にします。
- **サポート コールの必要性を最小化** — プロファイルやパスワードを要求するユーザからのヘルプ デスクへの問い合わせを減らします。

エンドユーザの利点

- **ユーザ ログインの一貫性** — ユーザは同じユーザ ID とパスワードを使用して、すべての Cisco Unified MeetingPlace システムにアクセスできます。
- **最新の個人データ** — 個別のユーザに対応するため、電話番号や課金コード、その他の変更についてユーザの連絡先情報を自動的に更新します。

特長

- **Cisco Unified MeetingPlace の同期** — Cisco Unified MeetingPlace 5.4 Audio Server と同期し、Cisco Unified MeetingPlace リリース 5.4 でサポートされるほとんどのユーザ プロファイル属性の同期をサポートします。
- **Cisco Unified MeetingPlace ビデオ属性のサポート** — ビデオ エンドポイントのアドレスや、ユーザがビデオを含む会議をスケジュールリングできるかどうかなど、ビデオ固有の Cisco Unified MeetingPlace 5.4 プロファイル属性の同期をサポートします。
- **Cisco Unified CallManager ディレクトリのサポート** — Cisco Unified CallManager ディレクトリからのユーザ データの同期をサポートするため、Cisco Unified CallManager ディレクトリに設定されている IP テレフォニー ユーザが Cisco Unified MeetingPlace 会議システムでサポートされます。
- **Microsoft Active Directory 2003 のサポート** — Windows Server 2003 に組み込まれている Microsoft Active Directory 2003 をサポートします。Active Directory 2000 と同じ設定を使用して Active Directory 2003 の MetaLink 合意書を設定できます。
- **拡張 ASCII 文字のサポート** — 数値が 127 より大きい拡張 ASCII 文字の一部をサポートします。

製品アーキテクチャ

Cisco Unified MeetingPlace ディレクトリ サービスのサーバは、企業の LDAP ディレクトリからのユーザ情報と、Cisco Unified MeetingPlace 音声サーバ システムに格納されているユーザ プロファイルを統合し、1 つのメタディレクトリを形成します。メタディレクトリによって、データを提供するシステムを置き換えることなく、これらのシステムが 1 つのアクセス可能なインフラストラクチャとしてリンクされます。

メタディレクトリを作成するために、Cisco Unified MeetingPlace リリース 5.4 は MetaLink 合意書と呼ばれる同期プロセスを使用します。各サーバの同期には、個別の MetaLink 合意書が必要です。一方向の MetaLink 合意書では、サーバ間でデータを一方向に送信し、双方向の MetaLink 合意書では、データを双方向に送信します。

社内ディレクトリとメタディレクトリ間で MetaLink 合意書を確立すると、社内ディレクトリ サーバに格納されている情報に基づいて、Cisco Unified MeetingPlace システム ユーザ プロファイルを作成、更新、および削除できるようになります。社内ディレクトリでユーザ情報が変更された場合、この変更は Cisco Unified MeetingPlace 音声サーバ システムに自動的に伝播されます。

要件

システム要件

- MeetingPlace 音声サーバを搭載した Cisco Unified MeetingPlace 8106 または Cisco Unified MeetingPlace 8112
- Cisco Media Convergence Server (MCS) :
 - Cisco 7835 または 7845 MCS (または完全に同等のハードウェア) (Cisco MCS OS バージョン 2000.2.6 [SR 4] 以降を使用)
- Cisco Unified MeetingPlace 5.4 ディレクトリ サービスがインストールされた MCS で、Cisco Unified MeetingPlace 統合ソリューションのいずれかの組み合わせが稼働していること
- 次のいずれかのディレクトリ サーバに該当していること:
 - Microsoft Active Directory 2000
 - Microsoft Active Directory 2003
 - Netscape Directory Server バージョン 4.0
 - iPlanet Directory Server バージョン 5.0
 - SunONE Directory Server バージョン 5.0
 - Cisco Unified CallManager 3.3.0
 - Cisco Unified CallManager 4.0.0
 - Cisco Unified CallManager 4.1.0

アップグレード要件

以前の Cisco Unified MeetingPlace システムは、次の条件でアップグレードできます。

- ハードウェア サーバの仕様が、Cisco 7835 または 7845 MCS (Windows 2000 Server [SP4] を使用) の仕様を満たしている必要があります。
- アップグレードは、Cisco Unified MeetingPlace 4.2.7.25 ディレクトリ サービス以降からサポートされます。

発注情報

シスコ製品の購入方法の詳細は、「[発注方法](#)」を参照してください。

表 1 に、Cisco Unified MeetingPlace ディレクトリ サービス ソリューションの製品番号を示します。

表 1 Cisco Unified MeetingPlace ディレクトリ サービスの製品番号

製品番号	説明
MP-DIRSVCS-5.4	Cisco Unified MeetingPlace Directory Svcs Rel 5.4 (rq svr)
MP-DIRSVCS5.4-UPG=	Cisco Unified MeetingPlace Directory Svr r.5.4 (rq svr)

サービスおよびサポート

シスコは、お客様がそのネットワーク サービスを最大限に活用するため、各種サービス プログラムを用意しています。これらのサービスは、スタッフ、プロセス、ツールをそれぞれに組み合わせて提供され、お客様から高い評価を受けています。ネットワークへの投資を無駄にすることなく、ネットワーク運用を最適化しネットワーク インテリジェンスの強化や事業拡張を進めていただくためにシスコのサービスを是非お役立てください。サービスについての詳細は、以下の URL を参照してください。

テクニカル サポート サービス

<http://www.cisco.com/jp/go/tac/>

サービス プログラム

<http://www.cisco.com/jp/service/contact/>

©2007 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco, Cisco Systems, および Cisco Systems ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(0609R)

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂2-14-27 国際新赤坂ビル東館

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先(シスココンタクトセンター)

<http://www.cisco.com/jp/service/contactcenter>

0120-092-255 (通話料無料)

電話受付時間：平日10:00～12:00、13:00～17:00